

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語A
科目基礎情報						
科目番号	2A027		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	Grove English Communicaiton II (文英堂)					
担当教員	飯野 一彦					
到達目標						
1. 英単語の中に存在する法則性を理解し、単語の綴りや発音、意味、働きを効果的に覚え、高専2年生に必要な語彙力増強ができる。 2. 既習の基本的な文法を学び直して、英文を正確に読み取ることができる。 3. さまざまなテーマを扱う教材を通し、英語の読解を含め、英語によるコミュニケーションに不可欠な豊かな教養を身に付ける習慣を培うことができる。 4. リーディング教材とその関連する多様な練習問題を通して、4技能にわたる英語力を総合的に高めようとする意識を培うことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基本的な英文法の理解に基づき、リーディング教材の各種問題を解いたり、英文を適切に読み解くことができる。		基本的な英文法の理解に基づき、リーディング教材の各種問題を解くことができる。		基本的な英文法の理解に基づき、リーディング教材の各種問題を解くことができない。	
評価項目2	音読がスムーズにでき、英語のリズム、発音、アクセントを的確に表現でき、英語を聞いたり話したりする能力に応用できる。		音読がスムーズにでき、英語のリズム、発音、アクセントを的確に表現できる。		音読がスムーズにできず、英語のリズム、発音、アクセントを的確に表現できない。	
評価項目3	英語力に必要な教養(文化的、社会的、歴史的背景知識)を得て、英語の4技能に対応する総合力を獲得することができる。		英語力に必要な教養を得て、英語の4技能に対応する総合的な練習問題を解くことができる。		英語力に必要な教養を得ることができず、英語の4技能に対応する総合的な練習問題を解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	・英語力は総合力である。語彙力、英文法力、その社会に存在する文化的・歴史的背景知識が必要である。 ・この教科では、さまざまな分野のリーディング教材を通して、それらの総合力の育成を目指す。 ・英語力の中でも、声に出して英文を読む力、内容を正確に読み取る力の育成に重きを置く。 ・シャドーイングなどの発声は語彙力増強にも貢献し、またリスニング力とスピーキング力にもつながる。 ・リーディング教材の精読は英文法力の強化とライティング力の向上にも大きく貢献する。					
授業の進め方・方法	1. リーディング教材に関し、基本文型を中心とした既習の文法事項の確認を授業のはじめに行う。 2. 文法や語彙、内容を意識しながら、リーディング教材を音読する。 3. 語彙の内部構造(複合と派生)に注意しながら、英単語の綴り、発音、アクセント、意味を確認する。 4. 読解問題を解きながら、リーディング教材の内容把握を行う。 5. 文法・ライティング問題を解きながら、リーディング教材で扱われている文法事項の確認と定着をはかる。 6. 発音・リスニング問題を解きながら、リーディング教材で学んだものの応用力を身に付ける。					
注意点	教科書を中心に基本的な語彙や文法事項について学習し、付属する実践問題に取り組むことで学習内容の定着をはかる。総合的な英語力の観点から、各自が到達目標を達成できるよう、事前学習および復習を自発的に行うことを期待する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・授業の概要(目標、評価方法など)を説明する。 ・高専1年間で学んだ英文法の基礎を確認し、読解のツールとして利用する準備とする。		・単語の綴りや発音法則を意識して辞書が引ける。 ・品詞と文型、句と節、準動詞などの基本的な項目を復習し、それぞれの項目が理解できる。	
		2週	・Lesson 1 Mt. Fuji:The Pride of Japan を読み、問題を解きながら内容確認する。		・S+V, S+V+C, S+V+Oの構文が理解できる。	
		3週	・Lesson 1 Mt. Fuji:The Pride of Japan を読み、問題を解きながら内容確認する。		・S+V+O+O, S+V+O+Cの構文が理解できる。	
		4週	・Lesson 1 Mt. Fuji:The Pride of Japan を読み、問題を解きながら内容確認する。		・S+V+that 節の構文が理解できる。	
		5週	・Lesson 2 Yes, I Do Climb を読み、問題を解きながら内容確認する。		・現在完了形を理解できる。	
		6週	・Lesson 2 Yes, I Do Climb を読み、問題を解きながら内容確認する。		・過去完了形が理解できる。	
		7週	・Lesson 2 Yes, I Do Climb を読み、問題を解きながら内容確認する。		・過去完了進行形が理解できる。	
		8週	前期中間試験		・これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。	
	2ndQ	9週	・Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet を読み、問題を解きながら内容確認する。		・助動詞の用法を理解できる。	
		10週	・Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet を読み、問題を解きながら内容確認する。		・助動詞+完了形が理解できる。	
		11週	・Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet を読み、問題を解きながら内容確認する。		・受け身の構文が理解できる。	
		12週	・Lesson 4 Warka Waterを読み、問題を解きながら内容確認する		・助動詞を含む受け身の構文が理解できる。	
		13週	・Lesson 4 Warka Waterを読み、問題を解きながら内容確認する。		・S+V(+O1)+O2(=that 節)の構文が理解できる。	
		14週	・Lesson 4 Warka Waterを読み、問題を解きながら内容確認する。		・S+V(+O1)+O2(=疑問詞節)の構文が理解できる。	

後期		15週	前期期末試験	・これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
		16週	答案返却	・これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
	3rdQ	1週	・授業の概要(目標、評価方法など)の確認をする。 ・これまでの学習事項の習得状況と今後の展望を確認する。	・既習項目を確認し、今後の展開が理解できる。
		2週	・ Lesson 5 A Hidden History of Tomatoesを読み、問題を解きながら内容確認する。	・ 進行形の受け身の構文が理解できる。
		3週	・ Lesson 5 A Hidden History of Tomatoesを読み、問題を解きながら内容確認する。	・ S+V(+O1)+O2(=that 節) の受け身の構文が理解できる。
		4週	・ Lesson 5 A Hidden History of Tomatoesを読み、問題を解きながら内容確認する。	・ S+V+O+O, S+V+O+Cの受け身の構文が理解できる。
		5週	・ Lesson 6 Iceland を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ 比較表現が理解できる。
		6週	・ Lesson 6 Iceland を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ to 不定詞の用法を理解できる。
		7週	・ Lesson 6 Iceland を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ 動名詞の用法を理解できる。
		8週	後期中間試験	・これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
	4thQ	9週	・ Lesson 7 Which Jam Would You Like? を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ 関係代名詞を理解できる。
		10週	・ Lesson 7 Which Jam Would You Like? を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ S+V+O+C (= 現在分詞、過去分詞) の構文が理解できる。
		11週	・ Lesson 7 Which Jam Would You Like? を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ 分詞の形容詞用法が理解できる。
		12週	・ Lesson 8 Paper Building を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ 分詞構文を理解できる。
		13週	・ Lesson 8 Paper Building を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ S+V+O+C (= 原形不定詞) の構文が理解できる。
		14週	・ Lesson 8 Paper Building を読み、問題を解きながら内容確認する。	・ 関係代名詞の非制限用法が理解できる。
		15週	後期期末試験	・ 1年間で学習した内容を概観できる。
		16週	答案返却	・ 1年間で学習した内容を概観できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭に聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100

基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0